

かがやき



富士市立東小学校
学校便り
令和5年度
7月号 臨時号

【須津小学校へ行ってきました】

6月27日（火）に小小交流で須津小学校へ貸切バスに乗って行ってきました。来年度から本格実施となる小中一貫教育への準備として、今年度より全学年で実施することにしました。昨年度までは、中学校への入学の準備として5年生の宿泊行事である「みどりの学校」の準備から交流活動を実施していました。ですが、子供たちの立場に立ち、小中学校の9年間をより充実したものにできるよう、須津小学校のご協力もあり、実施することとなりました。当日も、須津小の入り口付近に右上の写真の温かいお迎えの飾りがありました。望月校長先生が子供たちと作ってくださったそうです。



高学年は、1・2時間目を一緒に過ごしました。少しいつもと違った緊張感がありましたが、習い事等での知り合いを見つけて休み時間に話す子や、授業で大勢に物おじせず発表できる子も多くいました。6年生は英語で自己紹介をする活動を行い、交流し合いました。5年生はみどりの学校の準備で係の打ち合わせやキャンプファイヤーの準備をしていました。みんなで体育館にてダンスの練習もしていました。4年生は大勢の中で机を並べ、国語の授業で漢字の部首の学習をしていました。子供たちの振り返りの言葉を読むと、本校との違いにたくさん気づいていました。隣の子との机の近さ、ロッカーを一人一つで使っていること、授業のテンポの速さなどが書かれていました。「須津小の子たちが優しく迎えてくれたので、楽しかった。」「話しかけてもらってよかった。」という感想もありました。



低学年は、3・4時間目を一緒に過ごしました。1年生は体育館を会場に大量の水粘土で創作活動を合同で行い、幼稚園や保育園の友達との再会を喜んでいました。自然と須津小の子と一緒に活動する姿がありました。また、2年生は音楽で大勢での歌やロンドン橋のゲームを楽しんでいました。3年生は先日の「すどっ子カーニバル」のクイズから、須津小のことをいろいろ教わっていました。須津小の子にカブトムシの幼虫を触らせてもらっていた3年生もいました。子供たちは仲良くなるのが上手なようです。



「すどっ子カーニバル」のクイズから、須津小のことをいろいろ教わっていました。須津小の子にカブトムシの幼虫を触らせてもらっていた3年生もいました。子供たちは仲良くなるのが上手なようです。

1年生以外は、それぞれ数人ずつに分かれて3クラスに入っていました。1クラスの人数がおおよそ30人を超えているクラスが多く、一緒に授業を行っていました。東小の担任の先生方は子供たちの様子を見ながら、3クラスを行き来していました。子供たちの様子は様々でしたが、帰ってきて「楽しかった～！」と話す子が多く、安心しました。いつも前向きに授業へ取り組む東小の子たちですから、日頃から大勢で授業を行っているわけではありませんが、人数が少なくても多くても授業への態度や姿勢はいつも通りのようでした。

今回の小小交流は、児童数が少ないことにより「大勢に慣れていない」環境であることへの手立ての一つだと考えています。

しかし、東小の強みとして、子供たちはとても知的好奇心が高く、授業や行事、委員会活動等にとっても前向きにがんばることが出来ます。また、学級や校内で一人ひとりに活躍する出番があり、鍛えられています。職員も全員の子供たちの様子が分かり、その子の良さやがんばりに気づき、褒めたり励ましたりすることが出来ます。その学校の強みを生かして、今年度は子供たちにさらに表現力を伸ばしてもらおうと、重点目標を「自分から伝えよう」とし、大勢の前でも自信を持って表現できる子に育てようとしています。



そのため、学校も子供たちがなるべくいろいろな人と関わる経験ができるよう、各種出前講座や外部機関の活用を行っています。（これは長年、東小の先生方が取り組んでいることです。）それから東小には、保護者や地域の方々の協力がとても大きいという強みもあります。保護者や地域の方が子供たちに声を掛けてくれたり、地域探検等でも様々なご協力をいただいています。学校の職員だけでは、できない体験をたくさんさせていただいています。子供たち自身も、昨年度の拡大学校運営協議会で「地域の人が優しい」「地域の人が協力してくれる」と話していました。保護者や地域の方々と子供たちの距離が近いと社会性が育つことがよく言われていますが、それを実感した時間でした。浮島地区の人の温かさに触れ地域の良さを知る→地域を好きになる→地域の事を考える子が育つのです。学校のランドデザインにも書いてありますが、コミュニティ・スクールでの地域とともにある学校づくりであり、『自分が好き・学校が好き・浮島が好きな子』を目指しています。

↓5年生を見守る6年生↓



富士市教育委員会が力を入れて行っている「小中一貫教育」ですが、切れ目のない子供理解ときめ細やかな支援、学びの積み重ねを重視した授業づくり、地域の教育力を生かした学校づくりなどを進めていきます。須津中学区では、今年度も特別活動での交流や教員の研修会等を継続していきますので、学校だより等でお知らせしていきます。

東小の子供たちは浮島地区の皆さんと一緒に育てていきます。

（東小は、地域とともにある学校づくりを進めていきます。）